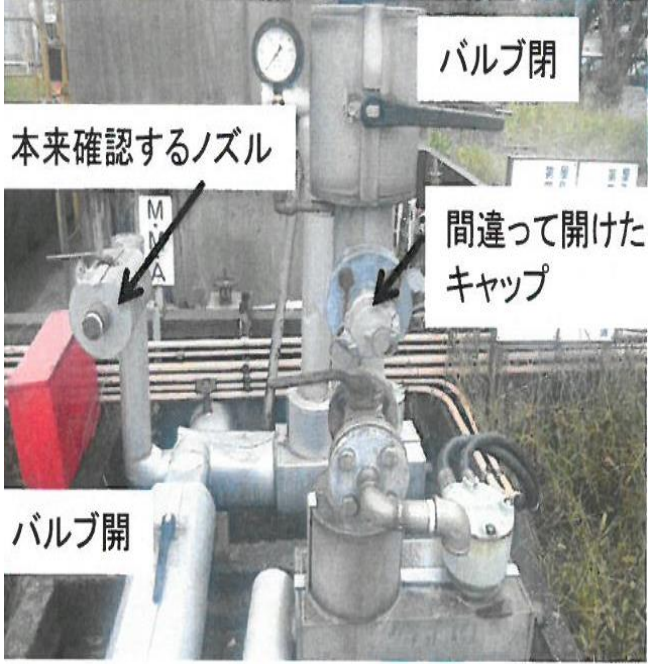


整理No.2019-5		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生場所		屋外MMAタンク			
災害発生日時		2018年 10月 12日(金) 10時30分 天候(曇り時々雨) 温度(20.5℃) 湿度(78%)			
災害区分		☒ 不休災害 ☐ 休業災害 (休業: 日) ☒ 重大ヒヤリ			
被災者	部門	環境業務課		雇用形態 ☒ 正社員、派遣、契約、その他()	
	年齢	19歳	性別: ☒ 男 ☐ 女	勤続年数	1年6ヶ月
	傷病名	病名 (眼の炎症)			
	傷病部位	目			
災害発生状況	・被災者は物流課から屋外タンクのローリー受入口の形状を質問され現場で確認しようとした。その際、ローリー受入口でなく、間違っってサンプル取り出し口のカムロックキャップを外したところサンプル取り出し口からMMAが噴出して体前面に被液した。(保護メガネ未着用)直ちにシャワーで全身を洗い流し、洗眼後病院にて受診した。結果は、軽度の眼の炎症であった。 ・ポンプサクシオン側のバルブは開、工場への送り配管のバルブは閉であったため、タンク内圧によりMMAが噴出したと推測できる。			状況概略(写真orイラスト)	
					
				災害の型※1) 7目に入る	
				起因物:	
		作業の形態: ☒ 定常、非定常、その他()			
		特記事項			
原因分類	1.人的要因(man) : 配管回路を理解せず、配管口の正面に立ってキャップを外した。保護メガネ未着用。				
	2.物に関する要因(machine) : 外したノズルの根元にバルブが無く、タンクのヘッド圧がかかった状態であった。				
	3.環境要因(media) :				
	4.管理的要因(management) : 配管の表示が不十分であった。(サンプル口、ローリー受入口)				
対策	1.ノズルの根元にバルブを設置する。(ノズルが不要であれば開けられないようにする。)				
	2.配管の表示を明確にする。				
	3.保護具着用ルールや作業手順について再教育を行い、理解度を月1回程度の頻度で確認する。				
	対策分類※2): 1-6、2-4、2-6				
備考	類似箇所の摘出:				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)